

5病棟における車椅子移乗時の外傷・転落の予防

5病棟 重症心身障がい児(者)病棟の患者様は長期入院で、医療依存度が高くすべての日常生活において援助が必要ですが、夏祭りなどの季節の行事や毎月の誕生日会にはご家族の協力も得て車椅子で参加しています。生活の質の向上につながればと、呼吸器装着中の患者様も車椅子に乗れるよう取り組んでいます。

しかし、車椅子に乗り下りするときや乗っているときに、転落や外傷などの事故が起きる可能性があるため、スタッフ全員で事故防止に努めています。

重症心身障がい児(者)は、自分で危険を回避できません。

ご家族と情報交換を行いながら、スタッフが早く気付くことが重要です。

今後も積極的にカンファレンスや勉強会を開催して情報交換を行い、日々患者様が安全・安楽に過ごしてもらえるようスタッフみんなで考え、事故防止に取り組んでいきたいと思ひます。

車椅子の移乗時・乗車中の注意点

- ★個々の身体に合った車椅子を準備する
年齢が幅広く、患者様の変形や拘縮の状態に合った車椅子が必要です
- ★スタッフ同士で声をかけ合い、2人以上で移乗・移動を行う
- ★安全ベルトを使用した際は定期的に観察を行う
- ★局所圧迫を防ぐため良い姿勢をとる
- ★ご家族と密なコミュニケーションを図る

病院玄関に飾られた患者様の作品展見学時の様子



いろいろなお車椅子

(医療安全推進担当者
副看護師長 服部 恵子)

医療福祉相談室 だより

「三重県おもいやり駐車場利用証制度」

三重県では導入されてから2年が経過しようとしていますが、写真のようなマークや駐車場の案内を見かけたことはないでしょうか？

障がいのある方、妊産婦の方など歩行が困難な方が外出しやすいように、さまざまな場所で設置されてきています。現在、同様の制度は全国31府県でも実施されており、相互

利用が可能です。

利用するためには、申請をして利用証を受け取る必要があります。申請窓口は県庁や県保健所、市町役所です。申請方法や利用対象者などは医療福祉相談室へ来ていただくか、県ホームページや各申請窓口で案内されていますので、ご確認ください。(ソーシャルワーカー 三好 亮司)



やまばと ギャラリー

夏の思い出
海中探検



夏の思い出
スイカ



夏の思い出
スイカ

